



2017年 6月19日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

中期経営計画(ローリング) [2018年4月期~2020年4月期]



100年の歩み、100年の挑戦

中期経営計画（ローリング）	2
1. 計画概要	3
2. 計画進捗	4
3. 2018年4月期 業績予想	5
4. 業績計画（ローリング後）	6
5. 化成品事業計画の深化	7
6. 窯業系建材事業計画の深化	10
7. 株主還元	12

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。



100年の歩み、100年の挑戦

中期経営計画(ローリング)

・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

・中期の経営戦略

(1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

- ①建材事業から化成品事業への業態変換
- ②セラミックス事業の本格的事業化
- ③住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④住宅分野は、高級化路線

(単位:百万円)

	2017/4期			当初予想比		修正予想比	
	当初予想	修正予想	実績	金額	達成率	金額	達成率
売上高	22,350	22,450	22,629	+279	101.2%	+179	100.8%
営業利益	1,280	1,400	1,433	+153	112.0%	+33	102.4%
経常利益	1,200	1,320	1,348	+148	112.4%	+28	102.2%
(経常利益率)	5.4%	5.9%	6.0%	—	—	—	—
当期純利益	860	980	1,051	+191	122.2%	+71	107.3%
減価償却費	803	842	882	+79	109.9%	+39	104.7%
配当額(円/株)	14	18	20	+6	142.9%	+2	111.1%
(配当性向)	14.9%	16.8%	17.4%	—	—	—	—

- ◇ 経営環境は、建材事業を横ばいと見込むも、良好に伸長
- ◇ 売上高は、建材事業の高級軒天井ボードを主因として増収
- ◇ 損益面は、売上増、燃料価格が想定を下回ったこと等により増益



経常利益は当初中期計画の2017/4期水準を12.4%上回る



中期経営計画のローリング(上方修正)⇒各事業別計画の深化

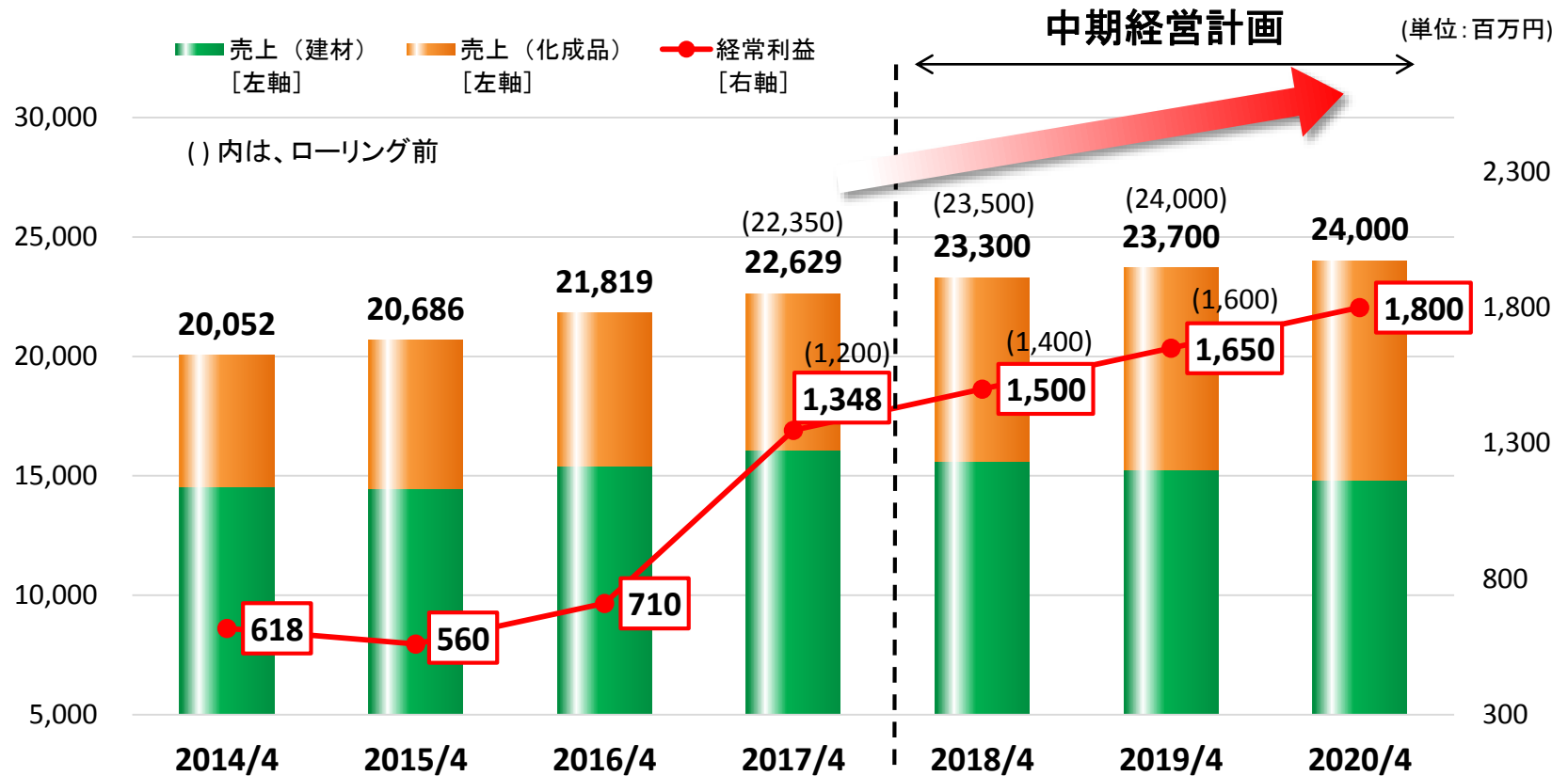
(単位:百万円)

	2017/4期 実績		2018/4期 予想		予想実績比	
		内 上期		内 上期	金額	増減率
売上高	22,629	10,964	23,300	11,210	+670	+3.0%
営業利益	1,433	701	1,580	770	+146	+10.2%
経常利益	1,348	661	1,500	730	+151	+11.2%
(経常利益率)	6.0%	6.0%	6.4%	6.5%	—	—
当期純利益	1,051	533	1,100	540	+48	+4.7%
減価償却費	882	397	1,030	500	+147	+16.7%
設備投資額	1,646	1,392	2,072	241	+425	+25.8%
配当(円/株)	20	7	24	14	+4	+20.0%
(配当性向)	17.4%	12.0%	20.0%	23.7%	—	—

- ◇当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、やや弱含みを見込む
- ◇売上高は、化成品の増産設備本格稼働による売上増を見込む
- ◇損益面は、売上高増加、物流費の低下等により増加

4.業績計画(ローリング後)

Konoshima Chemical Co., Ltd.



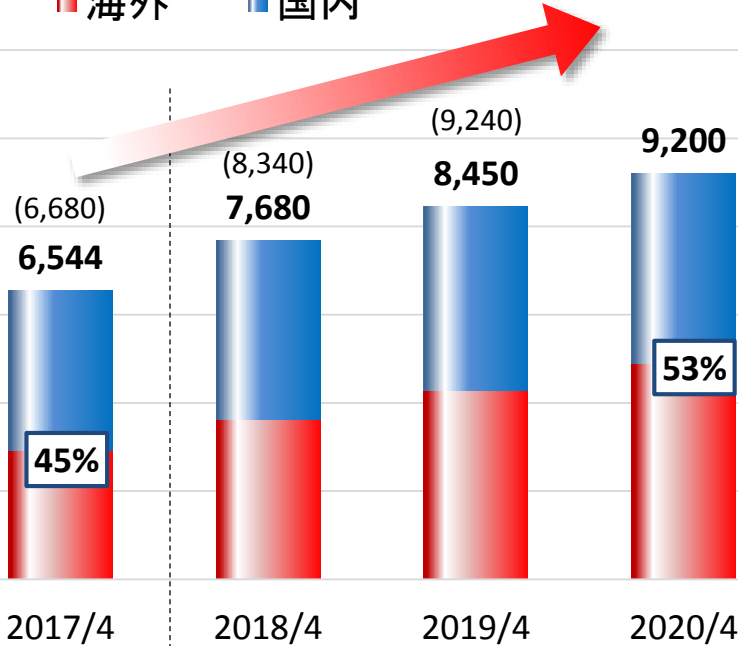
経常利益率	3.1%	2.7%	3.3%	6.0%	6.4%	7.0%	7.5%
自己資本比率	26.6%	28.3%	29.1%	33.5%	36.7%	39%	42%
総資産	17,974	18,253	18,936	19,217	19,874	21,000	22,000
純資産	4,495	5,159	5,515	6,446	7,299	8,270	9,270
設備投資額	553	1,097	1,423	1,646	2,072	2,000	2,000
研究開発費	515	549	623	690	710	720	730

①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

(単位:百万円)

■ 海外 ■ 国内



29%	33%	36%	38%
(30%)	(35%)	(39%)	
化成品比率			

()内は、ローリング前

《 2017年4月期実績 》

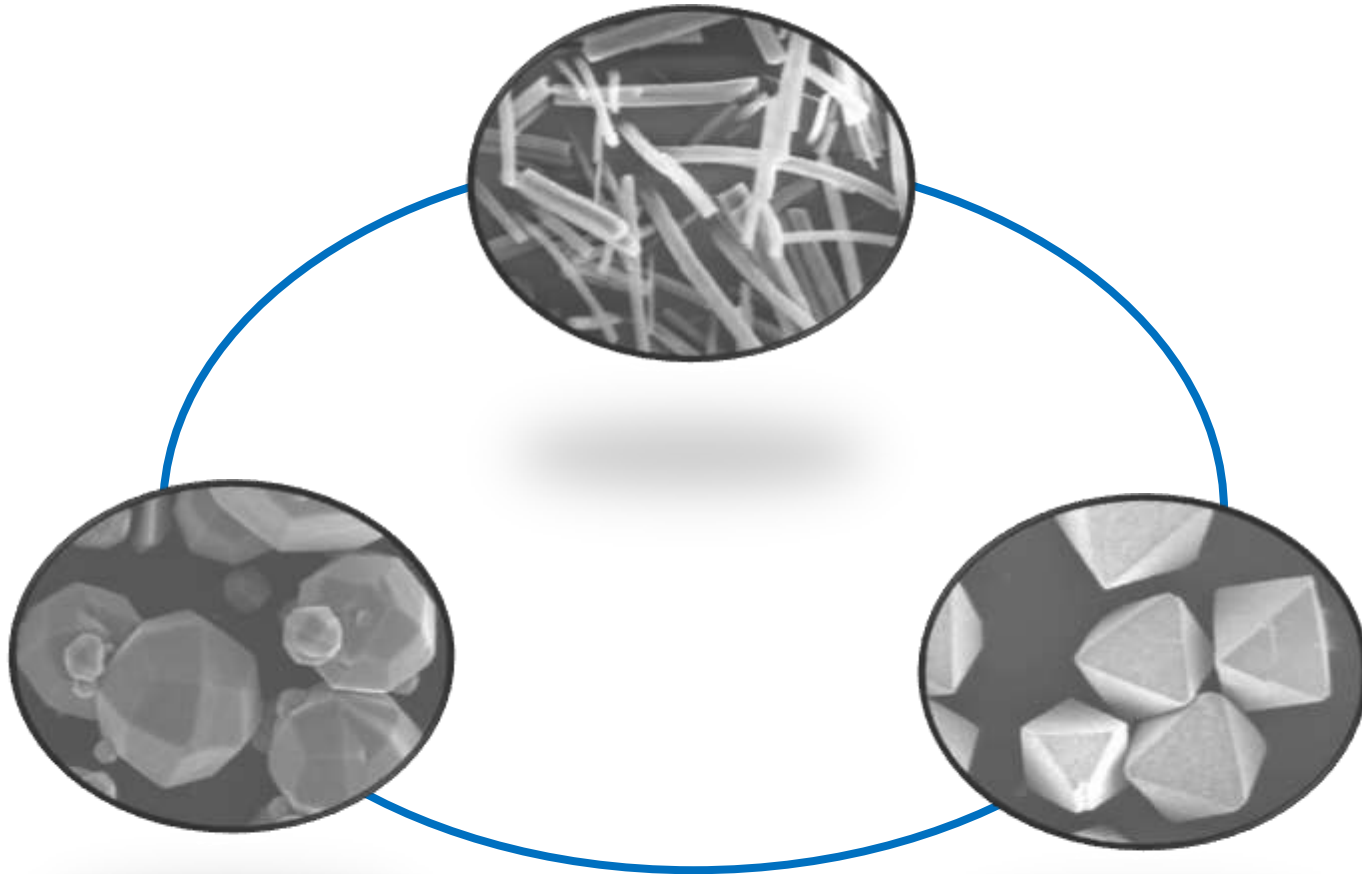
- ・ 化成品増産設備（総投資額17億円）は、2016年10月完成
- ・ セラミックス分野の一部製品不振で減収となったが、マグネシウムは計画通りの実績

《 中期計画のローリング 》

- ・ 当初計画より出遅れているものの、引き続き今後3年間で売上4割増を計画
- ・ 化成品事業部門売上高比率も引き続き約10%アップ
- ・ 海外売上高比率も50%超目標に



- ・ 粒子処理技術の深化による、より付加価値の高い製品作り
⇒マグネシウムで有する技術の他への展開



(イメージ図)

②セラミックス事業の本格的事業化



YAGセラミックス

Yttrium Aluminium Garnet (イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

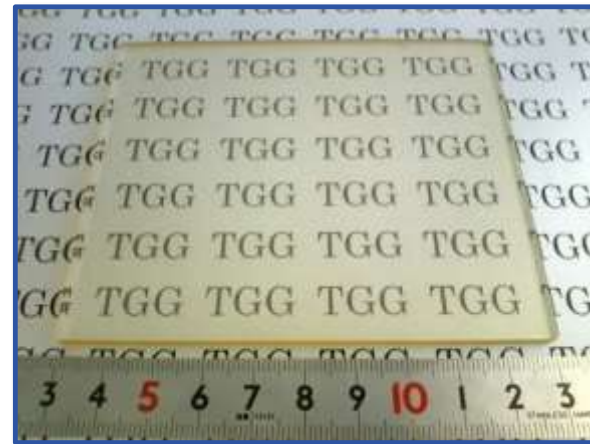
近年大型セラミックス使用の大出力レーザー開発が活発化。
開発拠点の増加、高出力化による使用量の拡大



TGGセラミックス

Terbium Gallium Garnet (テルビウム・ガリウム・ガーネット)

レーザー装置の安定動作には反射光防止装置が必須。
低出力ファイバーレーザー用から大口経による大出力レーザー
開拓

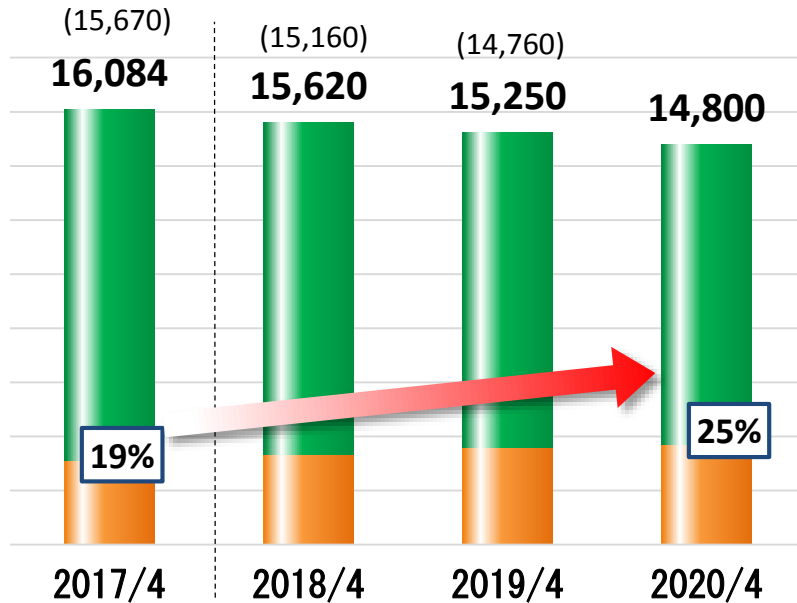


③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上

■住宅 ■非住宅

(単位:百万円)



19%	21%	23%	25%
(22%)	(25%)	(30%)	
非住宅比率			

()内は、ローリング前

《 2017年4月期実績 》

- ・ 建材事業の売上全体は、住宅用軒天井ボードの拡販により当初計画達成

《 中期計画のローリング 》

- ・ 非住宅比率は当初計画を下回るが、実額ベースでの拡大を企図
- ・ 独占的シェアを有する耐火パネルのオリンピック関連需要の取り込み
- ・ 譲受したラムダ事業（非住宅）の当社既存建材部門とのシナジー効果の発現
 - － 既存顧客へのラムダ製品拡販
 - － 技術交流による新商品開発（遮音板等）



④住宅分野は、高級化路線

- ・ 防火サイディング事業は、18mm厚の高級品「ドレッセプレミアム」に集中
⇒ 高級市場内でのシェアアップ
- ・ 強みの軒天ボード・破風板も、高級品（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）に注力
⇒ 特に高級軒天ボードは、市場への認知の高まりにより急伸
- ・ 内装化粧ボード（シェルテ）は、厚さ3mm市場に新規参入し、新流通経路による拡販



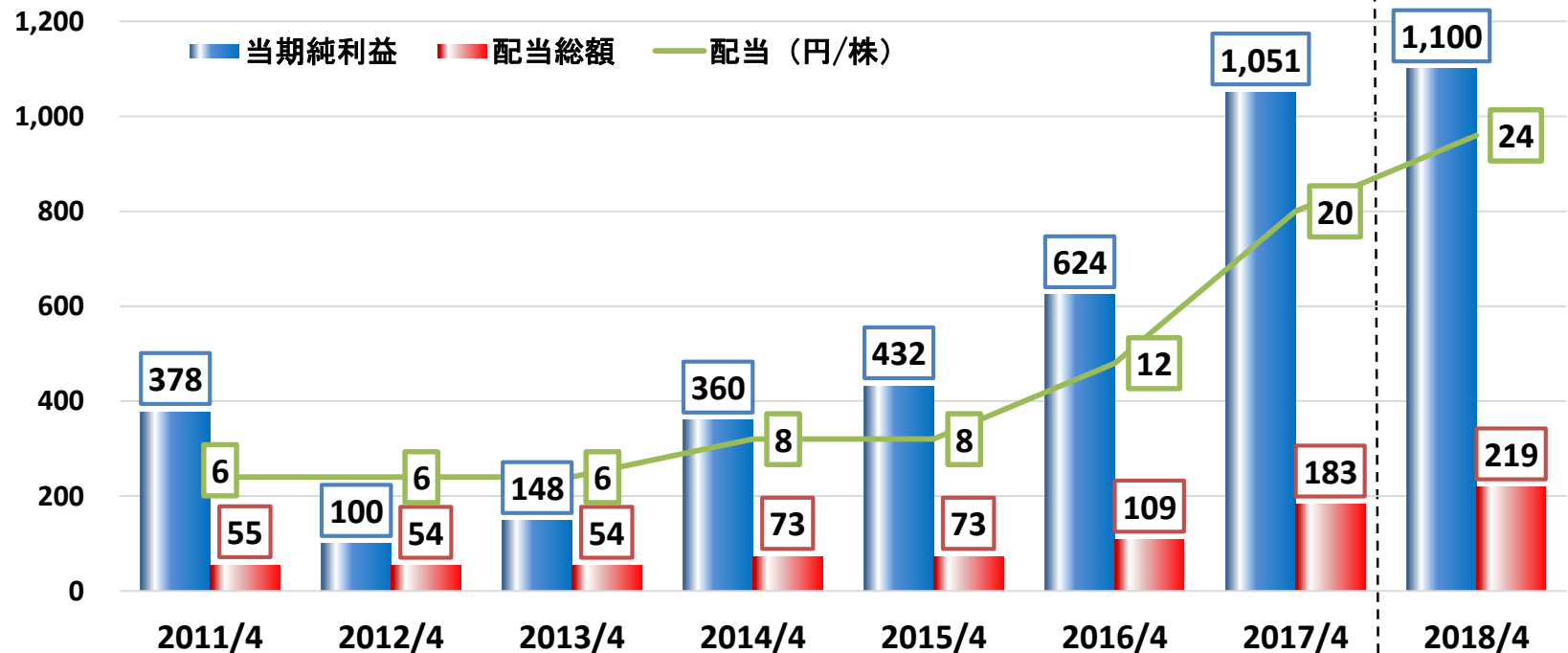
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2018年4月期配当は、創業100周年記念中間配当を実施（普通10円＋記念4円）
年間で24円と増配
- ・ 配当性向は、3年後に25%を目標

(単位:百万円)



配当性向	2011/4	2012/4	2013/4	2014/4	2015/4	2016/4	2017/4	2018/4
	14.5%	54.9%	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	20.0%